



# 流防協だより

平成31年  
1月  
第52号

発行：一般社団法人  
**千葉県流通商防犯協力会**  
千葉市中央区中央3-4-8 コーノビル7F  
TEL.043-224-0893 FAX.043-224-2241  
HP <http://www.cppd.jp/>

当法人は、各会員の相互扶助の精神に基づき、団結して防犯対策及び暴力団排除活動並びにパチンコ賞品の合法、適正な流通を推進することにより、会員の健全な経営活動を促進し、かつ、その地位の向上を期することを目的とする。



## 平成31年 年頭ご挨拶



一般社団法人千葉県流通商防犯協力会  
理事長 高橋 雄豪

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様方には、ご家族ともどもご健勝で輝かしい新年を迎えられましたことと心からお慶びを申し上げます。また、昨年中、当協力会に賜りました多大なるご支援ご協力に對しまして衷心より御礼を申し上げます。

さて、本年は天皇陛下の生前退位により新天皇が即位され、年号が変わる歴史的な年であります。この新しい時代の幕開けに当たり、当協力会の取り組むべき課題等につきまして会員皆様方にご理解をいただきたく、所信の一端を申し述べたいと思います。

昨年日本経済は、台風や地震などの大きな災害に見舞われながらも、景気回復は持続しており、この景気の好循環は、いざなぎ景気(1965年11月—1970年7月の57か月)を抜く戦後2番目と言われております。その要因は、海外経済の回復に加え、企業の稼ぐ力の高まりと雇用情勢の継続的な改善、更には、来日外国人の増加等を背景にした地域経済の回復が見られたことによるものです。

しかし、年後半は、米中の貿易戦争の激化、英国のEU離脱を巡る混乱や欧州各国で反移民、一国主義を掲げる政党の躍進等、好調な経済に影を落とす諸問題が浮上してきております。

我々遊技業界を見ても、日本経済の景気回復が持続している中で、昨年2月に施行された改正風適法施行規則等による規制強化の影響により、遊技人口の減少に歯止めがかからず、パチンコホール

では厳しい経営環境が続き、昨年はパチンコホールの倒産が全国で相次ぎ、2年連続で倒産件数が増加しております。県内においても、同様にパチンコホールの閉店が相次ぎ、それに伴い当協力会会員の取引先も減少となっております。

遊技業界は、当面、厳しい状況が続くことが予想されるものの、本年からスタートする外国人労働者枠の拡大や外国人旅行者の更なる増加、2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催、2025年大阪万博の開催等により、今後、国内における外国人人口の増加や来日外国人の増加が顕著となり、それに伴い大衆娯楽であるパチンコの人気が高まることを期待しているところです。

パチンコが国民をはじめ外国人からも受け入れて貰えるためには、我々賞品卸業を含め遊技業界全体が、これまで以上に、風適法の下で、国民から支持されるような娯楽性と健全性を維持しなければなりません。そのためには、一時中断している賞品流通システムが、娯楽性、健全性に的確に対応するものであり、システムの早期再開に向けて、一層努力する必要があるものと考えております。

一方、設立以降一環として取り組んでまいりました「防犯対策」、「暴力団排除活動」及び「社会貢献による地位向上」の三本柱については、先輩たちの努力の積み重ねにより、着実にその成果を上げてきたところであり、本年以降についても、各種施策を推進

めなければならないと考えております。

まず、防犯対策についてであります。昨年、千葉県内においては、賞品(景品)買取所に対する強盗事件や窃盗事件の被害確認はありませんでした。これも会員皆様への防犯活動に対するご努力によるものと認識しております。

しかし、夜間、無人となる買取所の防犯対策につきましては、油断することなく、これまで以上に積極的かつ継続的に行っていく必要があると考えております。

次に、暴力団排除活動についてであります。昨年一年間において、当協力会会員に対する暴力団の関与は認められませんでした。暴力団の再関与防止は常に意識しておかなければならないものであり、更にコンプライアンスを高めて、暴力団排除という社会正義の実現を通じて社会的責任を果たしていきたいと考えております。

次に、社会貢献による地位向上についてであります。

当協力会が行っている自治体、社会福祉団体等に対する支援等の社会貢献に対しては、多方面から感謝が寄せられ、昨年は11月9日、千葉県社会福祉協議会から同会会長感謝状(10年連続)、11月22日には千葉県婦性会から法務大臣感謝状(15年連続)を受賞しました。

こうした継続的な取り組みが、当協力会の社会的地位の向上に繋がっているものと考えております。会員皆様のより一層のご理解とご協力を賜り、本年も、引き続き地域防犯活動、福祉活動等への貢献を通じて地位向上に努めてまいりたいと考えております。

最後となりましたが、本年も当業界にとりまして激動の年、変革を強く求められる年となることは必至であります。当協力会会員が一致団結した上で、積極的な施策を展開してこの難局を乗り越え、更なる発展に結びつけますことができるよう心からご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

## 暴力団排除・防犯対策研修会の開催



昨年11月29日、千葉商工会議所会議室において、暴力団排除・防犯対策研修会を開催しました。

第一部では、千葉県警察本部刑事部組織犯罪対策本部捜査第四課暴力団対策室加藤龍一郎室長から、暴力団排除活動に関する行政講話をしていただき、第二部では、防犯関連商社の担当者による防犯カメラ及び防盜金庫など賞品買取所用の最新の防犯対策機器のデモンストレーションが行われました。

参加した会員は、行政講話のメモを取ったり、防犯関連商社の担当者が操作する防犯機器の機能に注目して説明に聞き入り、説明終了後には、担当者に質問を行うなど有効な研修会となりました。



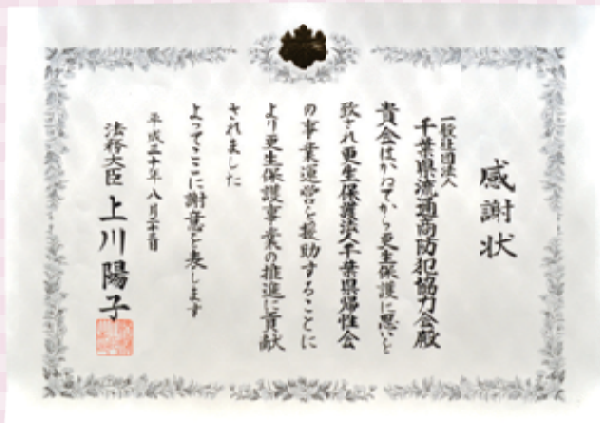
行政講話

防犯対策機器のデモンストレーション



## 各種表彰の受賞

### 法務大臣感謝状の受賞 ～15年連続受賞～



表彰を受ける吉田専務理事

昨年11月22日、君津市文化ホールにおいて開催された第62回千葉県更生保護大会の席上、当協力会は法務大臣感謝状を受賞しました。

社会福祉事業活動の一環として、千葉県婦性会の事業運営を援助しており、更生保護活動の推進に寄与した功績が評価されました。

### その他の表彰



#### ★感謝状の受賞

次の3団体から感謝状を受賞しました。

- ・ 公益社団法人千葉県防犯協会
- ・ 社会福祉法人千葉いのちの電話
- ・ 社会福祉法人千葉県社会福祉協議会  
～10年連続受賞～





## 平成30年中の社会貢献活動



当協力会は、設立以来一貫して地域に根ざした社会貢献活動を行ってきました。昨年中、当協力会は次の団体が推進している社会福祉活動、慈善事業等に対して支援を行いました。

- ★ 公益社団法人 千葉県防犯協会
- ★ 公益財団法人 千葉県暴力団追放県民会議
- ★ 公益財団法人 千葉日報福祉事業団
- ★ 公益財団法人 千葉県警察育英会
- ★ 更生保護法人 千葉県婦性会
- ★ 社会福祉法人 千葉県社会福祉協議会
- ★ 社会福祉法人 千葉いのちの電話
- ★ 千葉県少年警察ボランティア協議会



## 設立25周年記念事業親睦旅行



当協力会は、平成5年に設立以来、昨年で25周年を迎え、その記念事業として、昨年10月23日、高知県への2泊3日の親睦旅行を実施しました。

当地の歴史に関わる観光やゴルフプレーを通して、和気あいあいの中、会員相互の一層の親睦を深めました。

### 暴力団追放「三ない運動」+ワン

暴力団を ●利用しない ●恐れない 暴力団に ●金を出さない 暴力団と ●交際しない

※ 暴力団介入事案は、初期段階から機を失せず、事務局に連絡を!!  
警察及び関係機関等の指導協力を得ながら組織で対応します。